

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①類型・コース制の特色を生かした教育課程に、生徒の85%以上が満足している。	①類型・選択科目の内容を生徒に十分説明し、生徒のニーズを達成する類型・科目選択ができるようにする。	A	A	A	①特色を生かした類型・科目選択ができることに生徒の92.7%が満足している。今後も、生徒の実態を把握し、選択科目の見直しを行い、改善を図る。 ②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に生徒の98.2%が満足している。地域や家庭への周知等を行い、「資格取得のための学習」「就業体験・ボランティア活動」「社会に出ての必要な力の育成」の特色ある活動の充実を図り、継続していく。	○チャレンジタイムは特色ある活動として定着している。生徒の意欲を向上させていると感じているので、更に充実させて、魅力をアップしてほしい。今後はHPだけでなくメディアやSNS等をうまく使い、学校内外に周知することで、生徒自身が創意工夫しながら意欲的に取り組めるように。 ○特色ある教育課程の良さを更に発展させてほしい。 ○昨年より高い数値は先生方の努力の結果だと思えます。就業体験やボランティア活動等で社会に出ての必要な力の育成は就職する生徒には必須なことだと思います。地域との交流も取り入れてほしい。
		②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に、生徒の85%以上が満足している。	②チャレンジタイムのそれぞれの目標を示して、生徒一人一人が積極的に活動できるように、内容を工夫する。	A	A	A		
	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と、生徒の85%以上が答えている。 ④授業後に、「自分でもう少し勉強したい気持ちになった」と生徒の60%以上が答えている。	③研究授業・授業研究・授業アンケートを計画的・効果的に実施する。 ④生徒の興味関心を意欲におきながら、ペア学習やグループ学習を取り入れ、主体的に深い学びになるように工夫する。	A	A	A	③生徒の90.9%が「授業が分かりやすい」と答えている。また、保護者の88.6%が「子供は授業が分かりやすいと考えている」と答えている。今後も授業改善校内研修を実施し、個別最適な学びを行っていく。 ④生徒の60%が「もう少し自分で勉強したい気持ちになった」と答えている。今後、生徒の現状を把握し、生徒が主体的・対話的で深い学びとなるように、協働作業など取り入れ、授業改善をより一層推進していく。	○落ち着いた態度で授業に取り組む姿から「学び」に対する意識の向上がうかがえる。個に応じた適切な指導を充実させてほしい。 ○分かる、伸びる、取り組める授業の在り方を追求して学力向上に努めてほしい。生徒が互いに学び合う時間を保障して主体的に学習できるとよい。 ○昨年度の重点課題(CCB)にもかかわらず、方策が全く同じである。原因を追究し、より具体的な方策を立案する必要がある。 ○生徒・保護者ともに授業が分かりやすいと答えているのは素晴らしいと思う。自分から勉強するきっかけにもなる。
3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤「基礎科目」において、基礎・基本の知識が身に付いたと感じている生徒が85%以上である。	⑤教科内で「基本科目」の内容や授業形態について十分検討し、統一歩調で指導する。	A	A	A			
	⑥進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が80%以上である。	⑥到達目標を明確にし、授業と補習に繋がりを持たせ、学習の習慣化を図る。	B	B	B			
⑦資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	⑦個々のレベルに応じて目標を設定し、上位級の検定に挑戦することができる。	⑦個々のレベルに応じて目標を設定し、上位級の検定に挑戦することができる。	B	A	B			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧規律が保たれ、学校が安全だと感じる生徒が80%以上である。	⑧学校全体で生徒の情報が共有できる体制を整え、モラル向上の行事を計画的に実施する。	B	B	B	⑧規律が保たれ、学校が安全だと感じる生徒が65.5%であった。精神的な不安を図り、生徒の個性や特性に配慮し、安心安全な学校環境に整えていく。 ⑨生徒の80%、保護者の90%が、基本的な生活習慣を身に付け、服装頭髪などみだしなみがしっかりしていると答えている。引き続き、学校全体で統一した服装頭髪指導を実施していく。また、校則の見直しにおいて、生徒会と連携し改善を図っていく。	○校舎内外がとてよく清掃されており学習環境が整っていると感じる。生徒も落ち着いた授業に取り組んでいる様子なので65.5%という数値は何か原因なのか検討すべきである。 ○全校生徒が安全安心に学べる学校を作してほしい。 ○いじめ問題に繋がらないためにも基本的な生活習慣を身に付けることが大事だと思います。
		⑨基本的な生活習慣を身に付け、服装頭髪などみだしなみがしっかりしている生徒が80%以上である。	⑨服装頭髪指導の年間計画を立てて、分掌や学年と連携協力して実施する。	B	A	A		
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑩「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めている」と認識している生徒が80%以上である。 ⑪良好な人間関係づくりに積極的に進んでいる生徒は70%以上である。	⑩いじめに関するアンケートを年間5回、それに伴うフォローアップを年間5回実施する。 ⑪いじめ早期発見に向け、生徒観察、校内巡視等を行う。また、生徒が悩み等相談しやすい風通しの良い環境づくりに努める。	B	B	B	⑩生徒81.8%が「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めている」と認識している。いじめアンケートの実施やアンケート結果のフィードバックの充実を図り、日々の生徒観察を行い、教職員もアンテナを高くして、組織的対応を心掛けていく。 ⑪生徒の83.6%が良好な人間関係づくりに積極的に進んでいると答えている。いじめ防止対策委員会の実施や生徒情報を把握し、スクールカウンセラーや保護者等との連携を図り、今後も積極的にいじめの認知・解消に取り組んでいく。	
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫欠席率が5%以下及び遅刻率が3%以下である。 ⑬交通マナーやルールを遵守して、自分の命を守ると意識を常に持っている生徒が80%以上である。	⑫遅刻早退届証を活用し、保護者の協力を得ながら、段階的指導を行う。 ⑬交通安全教室、H.R等でルールを遵守させ、登下校指導を定期的に行う。	B	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑭「ドリカムプラン」に満足している生徒が80%以上である。	⑭計画に沿って実行し、事後の反省点を拾い上げ、改善する。	A	A	A	⑭生徒の98.2%が「ドリカムプラン」に満足している。生徒の実情を把握し、生徒の興味関心を喚起するように計画の見直しや改善を行っていく。 ⑮保護者の88.6%が子どもの将来の志望について理解していると答えている。保護者と連携し、三者面談等の支援を実施していく。また、生徒の進路実現に向けて、進路情報を適切に提供していく。	○目標値を大きく上回る結果となっているのは、生徒の実態に応じた指導が計画的に進められている成果である。 ○ドリカムプランに満足している生徒がとて多く、キャリア教育が充実してよい。 ○とても高い達成度で先生方の努力の結果だと思えます。 ○ドリカムプランでは、子供達の将来について、話し合うことはすばらしい。
		⑮生徒の将来の志望について理解している保護者が85%以上である。	⑮保護者との関係を密にし、三者面談等を個々の進路に関する情報を提供する。	A	A	A		
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑯自分の適性を理解している生徒が、60%以上である。 ⑰進路実現に向けて、積極的に取り組んでいる生徒が70%以上である。 ⑱第1希望の進路を実現できた生徒が90%以上である。	⑯適性検査や体験学習、面談等で自己理解を深める。 ⑰個々の目標とそれに応じた具体的な対策を示し、自ら学ぶ意欲を高める。 ⑱入社試験や入学試験に合格するために面接練習や模試を計画的に設定する。	C	A	B	⑯生徒の71%が自分の適性を理解していると答えている。自己理解を深める活動の機会を増やすとともに、よりよい進路選択のために進路適性検査を有効に活用していく。 ⑰生徒の76.4%が進路実現に向けて積極的に取り組んでいると答えている。進路実現に役立つ内容を「進路の手引き」、「板倉進路ニュース」に丁寧に分かりやすく示し、生徒が積極的に取り組めるように支援していく。 ⑱3学年の調査(12月9日付)では、72.7%であった。昨年度より低い。生徒が主体的に進路実現できるように必要な情報を適宜提供するとともに、面接練習や模擬試験を計画的に実施し、個別支援をより一層充実させていく。	
9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲公開授業、学級懇談会等に積極的に参加している保護者が、のべ60%以上である。 ⑳多様なルーツを持つ各家庭に配慮し、オクレンジャーで正しく翻訳される、易しい日本語を用いた通知に満足している保護者が90%以上である。 ㉑学校のWebページを月2回以上更新する。	⑲多くの保護者が参加できるように内容に設定し、情報を発信して参加を促す。 ⑳日本語指導支援小委員会を立ち上げ、他分掌やALTと連携を図りながら情報を発信していく。 ㉑チャレンジタイムや学校行事等の情報を発信し、教育活動を広く理解してもらえるように努める。	C	B	C			
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉒教科等の指導場面において、ICTを活用し個別最適な学びや協働的な学びの授業に、生徒の80%以上が満足している。	㉒ICTを積極的に活用し、学力・学習意欲面で多様な生徒に応じた授業展開を行う。	A	B	B	○生徒と保護者の意識の違いは何か検討すべきである。ICTの活用はここ数年で飛躍的に向上しているのでもって、ICT活用も充実させながら推進してほしい。 ○続けることで保護者の満足度も上がると思う。 ○保護者の満足度が高いのは素晴らしい。ICTの活用で業務のさらなる効率化が図れるように。 ○保護者へ直接通知やアンケートが届くのはとてもよい。今の時代に合っていると思う。	
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉓ICTを活用した通知やアンケートに生徒・保護者の80%以上が満足している。	㉓校務分掌・学年等が実施する諸調査等を外部の安否確認システムやGoogleフォームを活用し、適切にフィードバックする。	A	A	A		